

「神経変性疾患および精神疾患における凝集性タンパク質の 構造・機能解析」に関する情報公開

東京都健康長寿医療センターでは、当センター高齢者ブレインバンクに登録された方を対象に下記の共同研究を実施します。

本研究への協力を望まれない場合、あるいは研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ担当者までご連絡ください。

●研究の名称

神経変性疾患および精神疾患における凝集性タンパク質の構造・機能解析

●研究責任者

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

●研究の対象

2001年7月～2024年12月に東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方の内、死後の病理診断または臨床診断により統合失調症、ALS、ALSD、FTLD、ハンチントン病、鬱病、双極性障害、自閉症スペクトラム障害、神経核内封入体病、アルツハイマー病・ピック病、大脳基底核変性症・進行性核上性麻痺を含むタウオパチーと診断された方、および、その正常対照となる方

●研究の期間

倫理委員会承認後から2030年3月まで

●研究の目的と概要

本研究は、TDP-43やタウなどタンパク質の凝集体形成をもたらす神経変性のメカニズムを明らかにし、それが精神障害の有無にどのようにかかわっているか、また両者を結びつける分子機序を解明することを目的としています。これらを通じて、凝集体形成が引き起こす病態機序の解明を行います。

●研究の方法

凍結脳から疾患で凝集するタンパク質を抽出、精製し、凝集性のタンパク質と共凝集する物質に着目して解析を行います。得られた結果をパラフィン切片を用いた免疫染色法により検証します。

●研究に使用する試料・情報

統合失調症、ALS、ALSD、FTLD、ハンチントン病、鬱病、双極性障害、自閉症スペクトラ

ム障害、神経核内封入体病、アルツハイマー病・ピック病、大脳基底核変性症・進行性核上性麻痺を含むタウオパチー患者の脳神経組織
それに付随する臨床情報、病情報

●研究組織

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤 祐子
村山 繁雄
理化学研究所 田中 元雅

●お問い合わせへの対応

本研究に関するご質問や資料閲覧のご希望は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究計画書や研究方法に関する資料については、ご遺族の希望に応じて、他の研究対象者や研究者に不利益が及ばない範囲内で、ご覧になることができます。また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なお対応ができない場合がありますことをご了承ください。

●問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

高齢者ブレインバンク/神経病理 齊藤祐子（研究責任者）

電話 03-3964-3241 内線 4419（平日 9:00~17:00）